

食品ロス削減キャンペーンにおける取組募集の集計

1 目的

環境省の推計によれば、食品ロスの半分は家庭から発生していることから、食品ロス削減に向けた家庭への啓発が重要である。

そこで、家庭での食品ロス削減の取組を一定期間実施し、その結果を報告してもらうことにより、各世帯での食品ロスに関する意識の高揚を図るとともに、県内の食品ロスを含む廃棄物の削減につなげる。

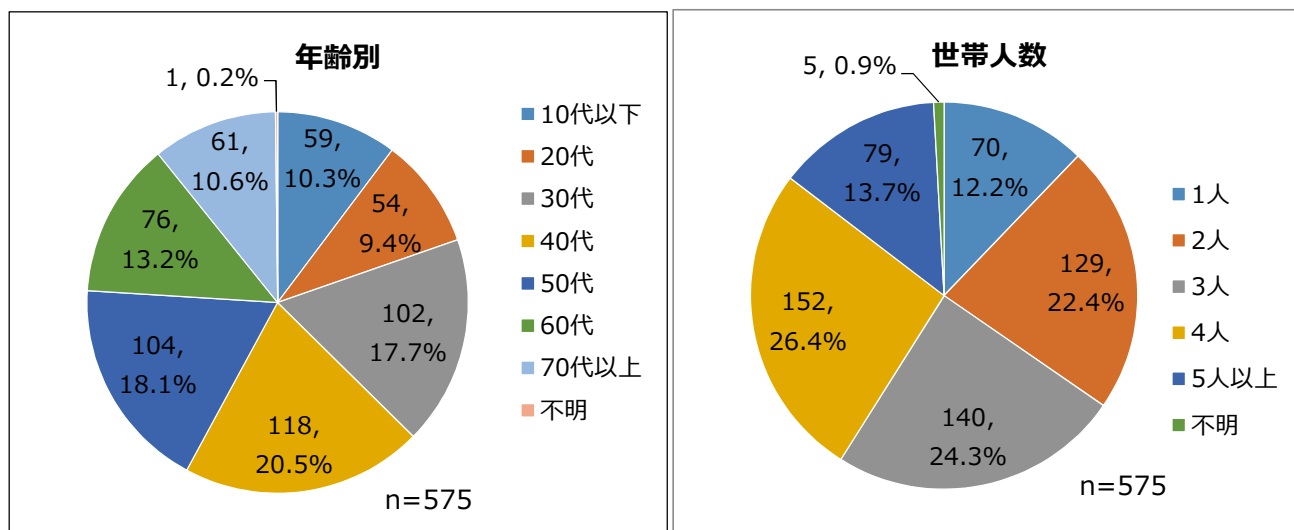
2 キャンペーンの概要

平成30年11月19日から平成31年1月31日までの期間、各家庭で食品ロス削減に取り組んでいただき、その結果を応募いただくキャンペーンを実施した。

3 集計結果の概要

(1) 回答者内訳

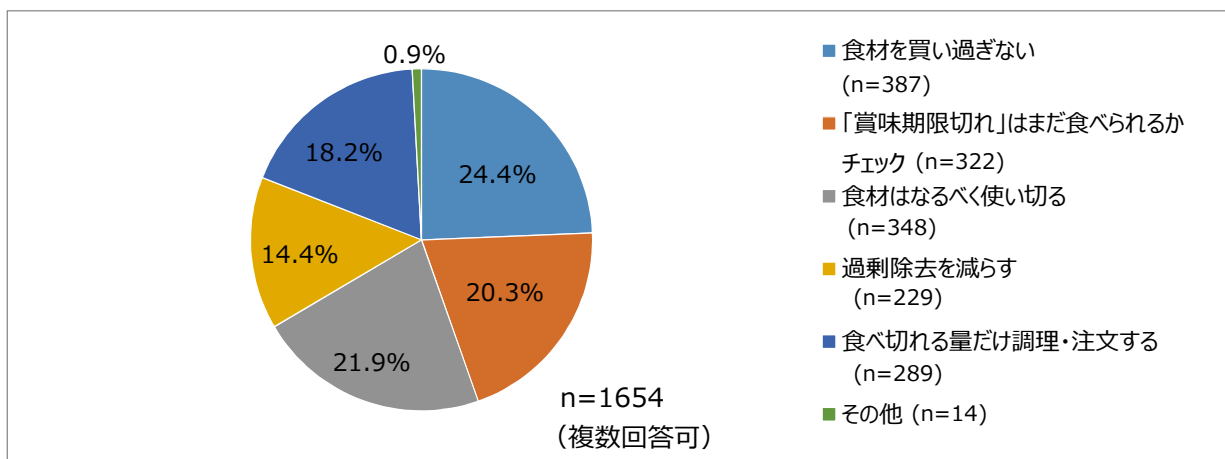
575名から応募があった。また、回答者の半数以上が30代～50代であり、世帯人数は3～4人が約半数となった。



(2) 普段から食品ロス削減のために取り組んでいること

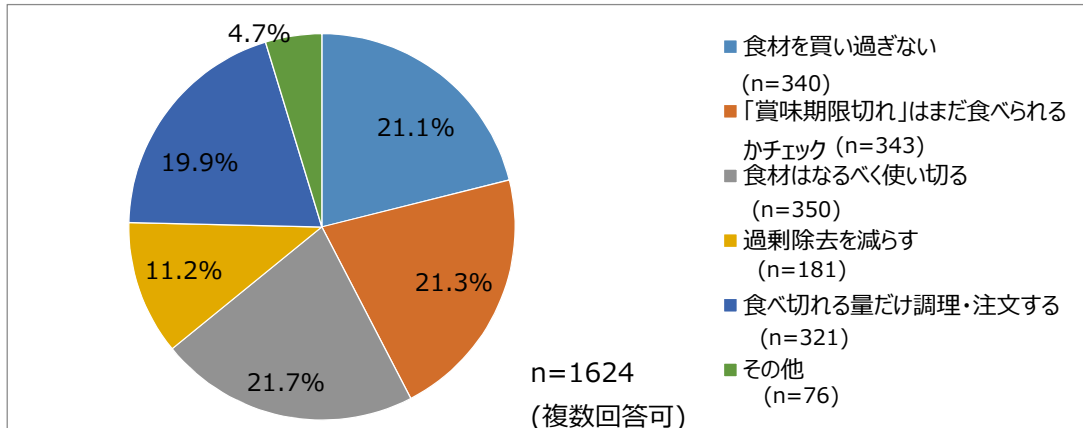
応募いただいたほとんどの方が普段から食品ロス削減に取り組んでいた。

具体的には、「食材を多く買い過ぎない」「賞味期限切れ」はまだ食べられるかチェック」「食材はなるべく使い切る」などの事例が多くみられた。



(3) キャンペーン期間に食品ロス削減のために取り組んだ内容

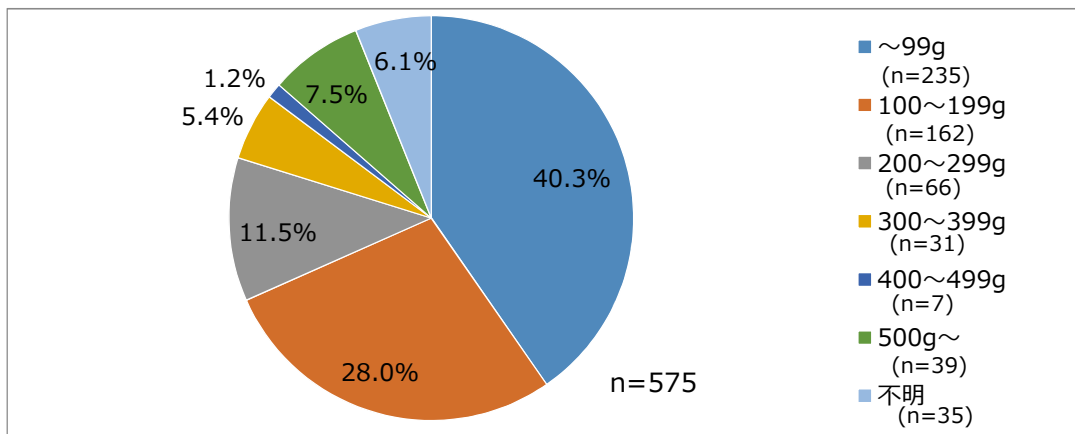
今回食品ロス削減のために多くの人に取り組んでいただいたのが「食材を買い過ぎない」「賞味期限切れ」はまだ食べられるかチェック」「食材はなるべく使い切る」となった。



(4) (3) の取組を実施したことによる一家庭当たりの食品ロス削減量

回答者家庭の約6割が、取組の結果100g/日以上食品ロス削減に成功した。

一家庭当たりの平均削減量は約130g、一人当たりの平均削減量は約40gとなった。食品ロス削減に係る意識を高めることで、食品ロスの削減が進んだものと思われる。



(5) その他の食品ロス削減のアイデア

食品ロス削減のアイデアを募ったところ、「野菜の皮をスープの出汁に使う」「残ったおかずをリメイクする」といった調理時の取組や「見切り品を買う」「生鮮食品の買いだめをしない」といった買い物時の取組等が多くみられた。

